

	号外 昭和34年4月1日 第3種郵便物認可	定価1部2円	人事委員会勧告に向け最終局面！全職員が実感できる、改善勧告の実現を勝ち取ろう！！	
		発行所		No.2639
		盛岡市内丸10番1号		2022年
		岩手県庁内 岩手県職員労働組合		10月7日

2022県人勸闘争⑥-朝 県人勸に向け最終局面

10.11 人事委員長交渉

月例給・一時金 諸手当改善 全職員のプラス改定を 高騰ガソリンの対策急務

岩手県地方公務員共闘会議（議長 佐藤工 岩教組委員長）は、10月11日県人勸へ向けた交渉の最終局面となる人事委員長交渉に臨む。

これまでの交渉では、月例給・一時金ともに公民較差はプラスとしつつも、給与改定や一時金の引き上げにならない可能性に言及し、加えてガソリン高騰も取り扱いは慎重の構えであり、極めて不満が残る内容だ。

地公共闘では、コロナ禍において日々職場で頑張っている職員の働き方、生活を守る報告・勧告の実現に向け、切実な訴えを背景に人事委員長交渉に臨む。



《これまでの交渉での確認と委員長交渉の課題》

要求課題	現状・交渉経過	人事委員長へ求める内容
月例給・一時金の改善	【国人勸】 月例給：若年層に配分 一時金：勤勉手当0.1月引上げ 【人事委員会9/30回答】 公民較差は月例給・一時金ともにプラス較差。ただし、 <u>給料表の改定や一時金の引き上げ</u> とならない可能性も。 勧告日は10月中旬ないしは下旬を想定。	○全年代への月例給改定を ○一時金は国並みのプラス勧告を ・勧告済の他県・政令市は軒並みプラス改定。岩手も上がらなければ、モチベーションは上がらない。 ・物価上昇とコロナ禍で、全世代、全職場で大変な思いをしている。 ・年代や職種を限定した引上げは現場にそぐわない。

要求課題	現状・交渉経過	地公共闘の要求
通勤手当の改善	<p>【現状】 ガソリン価格の高騰により、長距離通勤者を中心に自己負担額が増加している。</p> <p>【人事委員会9/30回答】 ガソリン価格の動向を注視しながら、取り扱いを慎重に検討。他県状況などから、<u>高速道路、駐車場料金は直ちに見直しを行う状況にない。</u></p>	<p>○自己負担を強いる手当では不十分。車通勤者の通勤手当の改善は急務。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガソリン高騰は深刻。広い県土を有する本県は、他県と状況は異なる。公共交通機関の利便性も限られている。 ・人事都合で長距離通勤を強いられ、自己負担が増えている。 ・高速道路、駐車料金など車通勤者はさらなる自己負担。
会計年度任用職員の賃金水準	<p>【現状】 一時金は、勤勉手当が支給されていないため引き上がらない。</p> <p>【人事委員会9/30回答】 課題があることは認識。<u>何らかの検討は必要ではないか</u>と考えている。</p>	<p>○一時金引き上げに向けた検討結果は？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般職員同様、会計年度任用職員も今年度分の水準較差について確実に反映される制度であるべき。 ・人事委員会として会計年度任用職員の賃金課題を解消する方策を示すべき。
長時間労働の是正	<p>【現状】 依然として解消されない。保健所等のコロナ対応職場で超勤時間が倍増。</p> <p>【人事委員会9/30回答】 任命権者で業務見直しを図り、それでも解消されない場合は必要な人員確保を要請している。 超勤が多い職員が常態化する事業所に、<u>管理職が主体となり改善計画の取り組み</u>を行い、その状況を確認。</p>	<p>○任命権者が具体的是正を行えるよう勧告・報告に触れるべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務の見直しや効率化だけの超勤縮減は既に限界を超えている。会計年度任用職員も年々減員し、負担は職員にのしかかっている。 ・人事委員会は、長時間労働の問題に対して、職場実態をどう把握し、どうすべきと考えているのか。
高齢層職員の勤務意欲確保策	<p>【現状】 55歳昇給抑制、再任用との賃金給与格差は勤務意欲に悪影響。</p> <p>【人事委員会9/30回答】 <u>給与制度上の見直しは難しい。</u> 60歳以降の活力維持増進へキャリアアップ休暇を含め検討は必要。具体的にどう見直されるか<u>国の動きを注視。</u></p>	<p>○給与格差解消、キャリアアップ休暇(勤続35年)の拡充を。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・60歳以降も業務量が変わらなければ、安心して働くことはできない。 ・高齢層の勤務意欲減退は若年層へも影響するため具体的な対策が必要。 ・長年にわたり県推進に貢献した職員を称える観点で積極改善を求める。